ティーチング・ポートフォリオ

筑波学院大学 経営情報学部 ビジネスデザイン学科
伊藤雅之

教育の責任

科目名	対象学年	受講人数	授業形態	必修選択	科目区分（カリキュラムにおける位置づけ）
ビジネス実務	3-4	38	講義	選択	専門基礎科目（コース共通の専門科目）
地域経営論	3	—	講義	選択	専門基礎科目（社会科学専攻の専門科目）
ビジネスマネジメント特論 B	2	9	講・演	選択	専門基礎科目（経営学専攻の専門科目）
ビジネスマネジメント特論 II	3	3	講・演	選択	専門基礎科目（経営学専攻の専門科目）
地域の企業と経済	4	—	講義	選択	専門基礎科目（地域コースの専門科目）
地域経営論 A	4	—	講義	選択	専門基礎科目（地域コースの専門科目）
専門演習ゼミ1	3	9	講・演	必修	専門発展科目
卒業研究	4	9	講・演	必修	専門発展科目

教育の理念

民間のシンクタンクでの実務経験を生かし、学生が大学卒業後に企業等組織に属して活躍するためのリアリティーある社会人力を身に着けることを目標とする。

このため、科目横断的な履修・到達目標を次のとおりとする。社会人力の前提となる組織に関する基本知識を身に着ける。社会における組織の役割や活動、組織の構造を理解する。また組織における組織目標や組織戦略の決定システム、実践方法を理解する。以上の組織に関する基礎的条件を理解した上で、個人が組織で活動する上で重要な要素であるモチベーションの持ち方やリーダーシップの発揮について理解する。

教育の方法

社会人力を身に着けるためのリテラシーとして、組織の活性化や発展に資する企画力とコミュニケーション力の醸成に重点を置く。教育の方法では、アクティブ・ラーニングの充実を目指して次のことを意識している。

企画力を醸成するために、問題意識を持つことが求められるので、複数回の小レポート課題を課し、期限内に解答・提出してもらう。ここでは、インターネット活用が有効であるので、必要なデータや外部情報を探し出す、あるいは比較し考察する内容を組み込む。予習・復習に能動的に取り組むことに役立つよう、Google Classroom で講義資料を配信するとともに、提出された小レポート課題に対して点数をつけ返却する。学生から点数について疑義があった場合速やかに回答する。

コミュニケーション力を醸成するため、グループ単位でのワークショップを実施し、その活動成果を発表する。一連の過程において、グループのメンバー決定においては個々の学生の個性に配慮する。

また、テーマ設定においては現実性と創造性のあるものとし、またコミットメントやモチベーションを引き出すよう問いかけを行う。

教育の成果 および 今後の目標

授業改善計画報告書を参照のこと。

参考資料

授業で用いるパワーポイント資料（非公開）